

2016年

5月号



青雲会 会報

平成28年度

青雲会総会のご案内

講演会のテーマ

University 4.0 への挑戦

講師 大阪大学総長 西尾 章治郎 氏

日時

平成28年7月16日(土)
午前10:00開会

- 10:00 - 10:45 総会議事
- 10:50 - 11:50 講演
- 12:00 - 14:00 懇親パーティー

会費

8,000円

(卒業後5年以内 2,000円、学生 1,000円)

ご出席の方は、会費の前納をもって申込みとさせていただきます。
同封の払込み用紙をご利用ください。

■払込み期限 6月30日(木) [必着]

場所



ホテルグランヴィア大阪「名庭」

<http://www.granvia-osaka.jp>

大阪市北区梅田3-1-1
TEL 06-6344-1235(代表)

JR大阪駅中央口を出て右手すぐです。

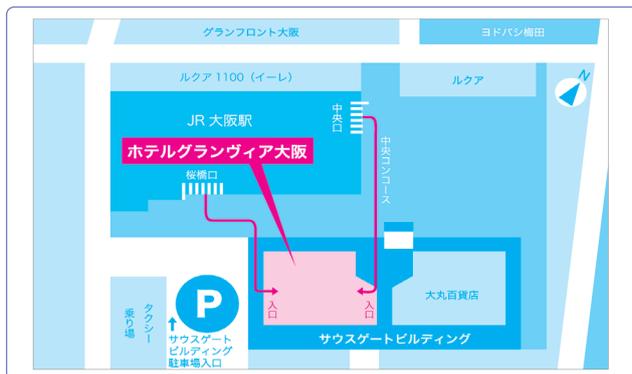
※ホテルグランヴィア大阪はJR大阪駅と直結しています。
※宴会場へは、ホテル専用エレベーターをご利用ください。

講演会の講師



大阪大学総長 西尾 章治郎 氏
にしお しょうじろう

1951年生まれ。岐阜県出身。1975年京都大学工学部卒業。1980年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了(工学博士)。専門分野はデータ工学。京都大学工学部助手、カナダ・ウオーターラー大学客員研究助教授、大阪大学基礎工学部助教授、同情報処理教育センター助教授を経て、1992年大阪大学工学部教授。その後、大阪大学サイバーメディアセンター長(初代)、文部科学省科学官、大阪大学大学院情報科学研究科長、同理事・副学長などを歴任し、2015年8月より現職。2011年紫綬褒章、2014年文部科学大臣賞など多数受賞。



青雲会会長 ご挨拶



会長 初谷 勇 (26期)

(大阪商業大学総合経営学部、
同大学院地域政策学専攻科教授)

平素より青雲会の運営にご支援ご協力を賜りまして、有難うございます。

昨年、本紙上のご挨拶で青雲会として取り組む必要のある三つの重点項目を掲げました。それらに沿ってこの1年の成果と今後の課題について述べさせていただきます。

第一に、「組織強化・会員拡充」です。青雲会は「人的ネットワーク形成の共通基盤」として、様々な専攻や進路を選ぶ方々を懐深く会員としてお迎えしています。次世代の入会を一層促すため、在学中から参加できる青雲会の事業等を分かりやすく紹介した資料を新たに作成し、在学生に対して入会勧誘を重ねました。今年2月には青雲会事務局も法学部本館1階に移転しましたので、在学生と卒業生をつなぐ、より身近な窓口として認知度を高め活用されるよう図っていききたいと思います。また、法学会による在学生向けの事業との共存共栄も求められるところです。

第二に、「新たな連絡・交流促進」です。多彩な切り口で新たな会員交流の場を設けるため、若手副会長・幹事に力を発揮していただき、昨年11月「若手交流会」を試行実施しました。今年5月には中之島で若手交流会試行第二弾として、卒業生シンガーソングライターによるライブコンサートを企画しています。多数のご来場をお待ちしています。これらの参加者から

寄せられた交流企画のアイデアも活かしつつ、今秋から若手交流会の本格実施を目指します。また「青雲塾」も硬軟のテーマにわたり趣向を凝らし、知的交流・歓談の機会として豊かに回を重ねています。さらなる会員交流促進のため、今後は出身ゼミや高校、同郷、勤務先単位の同窓会など「会員管理システム」を有効に活用した好事例を積極的にご紹介していきたいと考えております。

第三に、「人材育成支援」です。「青雲懸賞論文」への応募は年々増加しており、「青雲キャリア支援基金」を活用した秋の「法経OB・OG交流会」や「法学部生のためのキャリア形成支援講演会」も盛会裡に行うことができました。昨年の法経OB・OG交流会前には法学部の全在学生に対し、進路志望と交流会への要望について初の青雲会アンケート調査を実施し、意向把握に努めました。官公庁(公務員)志望者の多さなど認識を新たにした面も少なくありませんでした。この間、アンケートや各行事の準備・実施にきめ細かく協働していただいた法学部・経済学部のご関係の皆様方に感謝申し上げます。今後は、在学生(準会員)の側でも、これらの事業をとともに推進できるような組織づくりに向けて検討を進めたいと考えております。

このほか、今年度は青雲会が幹事となり、阪大文系5学部(文・法・経・人・外)同窓会の幹事合同懇談会も開催されます。文系学部の伝統や価値を再認識し、互いの絆を強めていければと思います。

会員の皆様には、青雲会活動に引き続き温かいご理解ご支援を賜りますとともに、今年7月の総会に奮ってご出席をいただきますようお願い申し上げます。今回は西尾章治郎総長をゲストにお迎えし、「University 4.0 への挑戦」と題したご講演を伺い、新たな時代に向けた阪大の全学的な取り組みのなかでの法学部・法学研究科の存在意義、そして青雲会のさらなる発展方向について、様々な角度からご一緒に語り合える機会となれば幸いです。

青雲会名誉会長 ご挨拶



大阪大学大学院法学研究科長
大阪大学法学部長

林 智良

青雲会会員の皆様につつしんでごあいさつを申し上げます。竹中浩教授のあとを受けまして、本年4月1日に名誉会長職に就任致しました林智良と申します。会員の皆様には、日頃から大阪大学法学部・大学院法学研究科での教育研究にご支援を下さりまして心より感謝致します。

ごく個人的な経験を語らせていただきます。ちょっとした御縁で、昭和49年大阪大学法学部入学の皆様の知遇をいただくことができました。法学部に里帰りして周辺をめぐりたいという希望で平成19年8月にご案内致しました。学窓をたち、時を経て弁護士や大手企業・地方公共団体幹部等として活躍されている方々が、母校の変貌に驚嘆しつつ学生の横顔に戻られていたのが印象的でした。不思議なもので、このような等身大の触れ合いの方が、皆様の母校への愛着と仲間のつながりを具体的に感じることができるようになります。

法学部の現況を申しますと、国立大学は全体として改めてその存在意義と社会への貢献のあり方を問われております。われわれもその例外ではありません。国立大学の第3期中期計画6ヶ年も今春にはじまり、難しい舵取りが求められております。ただ、このような逆風下にあ

りまして、幅広い年代の皆様が社会で活躍され、お互いのつながりを大事にされるさまを目に致しますと、胸を張りたい思い、力を得る思いが致します。どうか今後ともご支援ご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成27年度総会報告

2015年7月11日(土)、新大阪の大阪ガーデンパレスにおいて、平成27年度青雲会総会が、70名の会員の皆様のご出席のもと盛会裡に開催されました。

第一部 総会 (10:00~10:40)

冒頭、初谷勇会長から新会長としてのご挨拶をされ、ご来賓を代表して竹中浩名誉会長からご祝辞を頂きました。その後、平成26年度会務会計報告が野村史郎前会長から、会計監査報告が西村元昭会計監査から行われ、いずれも承認を得ました。次に、初谷会長が平成27年度予算を報告し承認を得ました。続いて同会長による新役員紹介ののち、三成賢次学内幹事により「大学からの報告」が行われました。

第二部 講演 (10:40~11:40)

大竹文雄大阪大学理事・副学長から「行動経済学を実務に活かす」と題して、ご講演を頂きました。錯視と意思決定のバイアスや損失回避のバイアス等、分かりやすい図を用いつつ、心理学上の効果等が巧みに経済活動に利用されている多数の事例紹介に始まり、幸福の経済学や同窓会の価値、寄附の意義に至るまで縦横に説き及ぶ楽しいご講演に、一同深い感銘を受けました。

第三部 懇親パーティー (11:40~14:00)

懇親パーティーは、ご来賓の方々をご紹介の上、塚口純行幹事(4期)の乾杯の発声で始まりました。まず、青雲会東京支部の鈴木浩幹事長及び名古屋支部の中嶋利幸支部長からそれぞれ活発な活動報告が行われました。続いて、2014年度青雲懸賞論文の1席受賞者紹介、第15期青雲会奨学生(法学部留学生)授与者紹介が行われ、富田晃史さん(国際公共政策学科4年)ら懸賞論文1席受賞者の皆様と留学生のキョ・インシンさんから清新なご挨拶を頂きました。

その後、青雲会総会懇親会では初のビンゴゲームが始まりました。法学部らしく法律名が飛び交う「法令ビンゴ」は、大竹先生よりご寄附いただいた大阪大学オリジナルウィスキー「光吹—MIBUKI—」の試飲券をはじめ、会員からのご寄附による希少糖、ワイン、日銀グッズや、阪大グッズなど多数の景品を前に、大変盛り上がりました。

盛会のうちに中締めとなり、山本茂伸副会長による恒例の大阪締めによりお開きとなりました。

総会から懇親パーティーまで、菅聡一郎幹事の緩急自在の司会も印象深いものでした。



講演：大阪大学理事・副学長 大竹 文雄氏



青雲懸賞論文1席受賞者挨拶
富田 晃史さん・螺良 彩花さん
井上 結梨子さん・梶 芳英さん



留学生奨学金授与者挨拶 キョ・インシンさん

平成27年度卒業式・卒業修了祝賀会

2016年3月28日(月)、卒業式があり、法学部法学科より167名、国際公共政策学科より88名、計255名、法学研究科より48名の合計303名が卒業・修了されました。

法学部卒業式では2015年度の「青雲懸賞論文表彰式」が行われ、1席、2席、佳作受賞の皆さんに青雲会会長から表彰状と賞金が授与されました。

青雲会主催による卒業修了祝賀会では、竹中浩法学部長の祝辞と村上正直国際公共政策学科長の乾杯で懇談に入りました。

当日の運営は法律相談部・法学研究会はじめ法学部の文化サークルに所属する学生の皆さんが担い、軽妙な司会進行で今年も賑やかにビンゴゲームが行われました。また、飲み物(ビール)をサントリーグループの(株)ダイナックにご寄贈いただきました。

出席者は先生方を含め161名にのぼり、記念写真も三度に分かれての撮影となりました。



平成27年度総会報告

2015年7月11日(土)、新大阪の大阪ガーデンパレスにおいて、平成27年度青雲会総会が、70名の会員の皆様のご出席のもと盛会裡に開催されました。

第一部 総会 (10:00~10:40)

冒頭、初谷勇会長から新会長としてのご挨拶をされ、ご来賓を代表して竹中浩名誉会長からご祝辞を頂きました。その後、平成26年度会務会計報告が野村史郎前会長から、会計監査報告が西村元昭会計監査から行われ、いずれも承認を得ました。次に、初谷会長が平成27年度予算を報告し承認を得ました。続いて同会長による新役員紹介ののち、三成賢次学内幹事により「大学からの報告」が行われました。

第二部 講演 (10:40~11:40)

大竹文雄大阪大学理事・副学長から「行動経済学を実務に活かす」と題して、ご講演を頂きました。錯視と意思決定のバイアスや損失回避のバイアス等、分かりやすい図を用いつつ、心理学上の効果等が巧みに経済活動に利用されている多数の事例紹介に始まり、幸福の経済学や同窓会の価値、寄附の意義に至るまで縦横に説き及ぶ楽しいご講演に、一同深い感銘を受けました。

第三部 懇親パーティー (11:40~14:00)

懇親パーティーは、ご来賓の方々をご紹介の上、塚口純行幹事(4期)の乾杯の発声で始まりました。まず、青雲会東京支部の鈴木浩幹事長及び名古屋支部の中嶋利幸支部長からそれぞれ活発な活動報告が行われました。続いて、2014年度青雲懸賞論文の1席受賞者紹介、第15期青雲会奨学生(法学部留学生)授与者紹介が行われ、富田晃史さん(国際公共政策学科4年)ら懸賞論文1席受賞者の皆様と留学生のキョ・インシンさんから清新なご挨拶を頂きました。

その後、青雲会総会懇親会では初のビンゴゲームが始まりました。法学部らしく法律名が飛び交う「法令ビンゴ」は、大竹先生よりご寄附いただいた大阪大学オリジナルウィスキー「光吹—MIBUKI—」の試飲券をはじめ、会員からのご寄附による希少糖、ワイン、日銀グッズや、阪大グッズなど多数の景品を前に、大変盛り上がりました。

盛会のうちに中締めとなり、山本茂伸副会長による恒例の大阪締めによりお開きとなりました。

総会から懇親パーティーまで、菅聡一郎幹事の緩急自在の司会も印象深いものでした。



講演：大阪大学理事・副学長 大竹 文雄氏



青雲懸賞論文1席受賞者挨拶：
富田 晃史さん・蝶良 彩花さん
井上 結梨子さん・梶 芳英さん



留学生奨学金授与者挨拶：キョ・インシンさん

平成27年度卒業式・卒業修了祝賀会

2016年3月28日(月)、卒業式があり、法学部法学科より167名、国際公共政策学科より88名、計255名、法学研究科より48名の合計303名が卒業・修了されました。

法学部卒業式では2015年度の「青雲懸賞論文表彰式」が行われ、1席、2席、佳作受賞の皆さんに青雲会会長から表彰状と賞金が授与されました。

青雲会主催による卒業修了祝賀会では、竹中浩法学部長の祝辞と村上正直国際公共政策学科長の乾杯で懇談に入りました。

当日の運営は法律相談部・法学研究会はじめ法学部の文化サークルに所属する学生の皆さんが担い、軽妙な司会進行で今年も賑やかにビンゴゲームが行われました。また、飲み物(ビール)をサントリーグループの(株)ダイナックにご寄贈いただきました。

出席者は先生方を含め161名にのぼり、記念写真も三度に分かれての撮影となりました。



青雲キャリア支援基金活用事業について

平成26年度に創立60周年記念事業の一環として「青雲キャリア支援基金」が設立されました。平成27年度は、同基金活用事業として、キャリアデザイン関係のデータ整備のほか、在学生支援を図る次の二つの事業を実施しました。

法学部生のためのキャリア形成支援講演会



2015年11月17日(火)4時限(14:40～16:10)、豊中総合学館301講義室において、高江洲ひとみ弁護士(弁護士法人 サン総合法律事務所、大阪大学大学院高等司法研究科修了)を講師に迎え、キャリア形成支援講演会を開催しました。

テーマは「弁護士への招待 ～弁護士になるってどんなこと?? 弁護士業務と資格取得までの道のり～」でした。

今回は、法政基礎セミナーの受講者(2年生)を主な対象として開催しましたが、当日は100名を超える学生が、若手弁護士の日常や弁護士業務に関する興味深い話に耳を傾け、講師と熱心な質疑を交わっていました。

法経OB・OG交流会

2015年11月21日(土)14:00から18:30まで豊中総合学館において、今年で4回目となる法経OB・OG交流会を開催しました。

当日の参加者は、

卒業生: 法学部 15名、経済学部 17名、計32名。

学生: 法学部 15名、経済学部 25名、

他学部 1名、スタッフ 6名、計47名です。

大阪大学経済学部同窓会学生会(ESCOCA)の金丸さんの開会挨拶の後、経済学部同窓会の安竹素之事務局長及び青雲会の松本克己副会長から挨拶を頂きました。

予め配席を決めた、卒業生を囲む小グループでの20分の座談会を2回実施し、その後学生が希望する卒業生と自由に話せる25分の座談会を2回実施しました。

各座談会で学生は各分野の卒業生に熱心に質問し、卒業生からは自らの経験・体験に基づく具体的な説明や、学生の思いに応える親身な助言や意見を多数うかがうことができました。

その後懇親会に移り、卒業生と学生が親しく歓談して懇親を深め、更なる絆の拡大に努めていきました。



当日参加頂いた法学部卒業生の皆様



若手交流会開催のご報告

副会長(新規事業担当) 嶋津 裕介(45期)



去る平成27年11月18日(水)午後7時より、大阪大学中之島センター交流サロンにて、原則50歳未満の青雲会会員を対象に若手交流会を開催しました。29名のご参加をいただきました。

古野裕衣子幹事(57期)の司会のもと、冒頭、初谷勇会長よりご挨拶いただいたのち、私より「青雲会の若い世代同士でつながりをつくるきっかけとしたい」との趣旨説明をさせていただきました。

立食パーティーで食事をいただきながら、会は和やかに進行了。参加者全員による自己紹介、近況報告の1分間スピーチもお願いしました。在学時のこと、これまでの略歴、現在の仕事の状況をお話いただきました。互いに近況のことがよく分かり、初めてであった同士、もしくは在学時は顔と名前しか知らなかったという間柄でも、お互いのことを知るきっかけづくりとなりました。「交流会の輪を広げていこう」との前向きなコメントもいただきまし

た。堀木由紀副会長(45期)の挨拶ののち、記念撮影で閉会しました。

参加者は弁護士が半分程度でしたが、士業、大学教員、民間企業からの参加者も多くいらっしゃいました。

今後、今回の成果も踏まえ、年2回程度、遊びながら、学びながらの趣向を凝らした交流会を開催していきます。随時ホームページ、フェイスブック、口コミでご案内していきますので、概ね50歳以下の会員の方々、ぜひご参加のうえ、同窓のつながりを深めていただければと思います。

「青雲会」若手交流会 田口 真司スペシャルライブ

【法学部国際公共政策学科1期生(2012年3月卒業)】

2016年5月17日(火)、@中之島ダイニングRed & Blue
18:40オープン、19:00スタート ¥4,000(料理・ドリンク含む)
申込・お問い合わせ/青雲会事務局:ishibashi@seiunkai.net

“青雲塾”は面白くてためになるらしい! 副会長(青雲塾担当) 松井 繁幸(23期)

青雲会会員の他、会員の紹介のあった人もご参加大歓迎です。開催回数もすでに50回を超えました。次回の案内はホームページをご覧ください。過去の実績も掲載しています。

<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/>

なお、昨年度の開催内容は次のとおりです。

2015年

第48回 7月6日(月)「ジャパニーズ・ウイスキーと大阪大学」
備後町クラブ

講師 松永 和浩 先生 (大阪大学適塾記念センター 大阪学研究部門 准教授)

★「世界のウイスキー、100人のレジェンド」のうち3人は阪大出身者です。ジャパニーズ・ウイスキーの歴史における大阪および大阪大学が果たしてきた役割についてご紹介します。

第49回 10月25日(日) 落語を楽しむ「ひと・ふれあいの輪」を温め拡げたい
「第6回かばえる寄席」 加堂席亭

席亭 加堂 裕規 氏 (青雲会23期)

★出演: 桂小留 桂文昇 桂枝女太
落語のあとは、美味しいお弁当と生ビール、銘酒秋鹿、ワイン等で、「美食微酔、ふれあいの会」を、心ゆくまで…。

第50回 11月29日(日) 銀杏亭福豆引退公演
箕面小会館「日時計の家」

演者 高座名 ^{いちようてい} 銀杏亭 ^{ふくめ} 福豆 こと

^{すやま} 寿山 ^{あき} 安紀 氏 (大阪大学落語研究会 基礎工学部 3年)

★全日本大学生落語選手権「策伝大賞」の決勝大会で大賞を受賞し、落研日本一になった福豆さんの引退公演で応援。

2016年

第51回 2月23日(火)「ケルト文化への誘い」備後町クラブ

講師 武部 好伸 氏 (エッセイスト・作家 阪大文学部卒)

★元新聞記者のキャリアを活かし、ヨーロッパ各地に点在する「ケルト」関連のスポットを取材した成果を盛り込み、「ケルト」についてわかりやすくお話しします。



◀ 第49回
満場のお客様を
前にした桂枝女太
師匠の高座

東京支部だより

東京支部長 西畑 一哉(27期)



東京支部 連絡先

〒160-0004

東京都新宿区四谷1-9 天龍ビル5F

杉政静夫法律事務所内

TEL 03-3355-6575 FAX 03-3355-6576

昨年の総会で支部長を杉政さんから受け継いだ27期の西畑です。よろしくお願ひします。

それでは昨年の活動報告をします。春(5/28)の合同講演会は経済学部同窓会(待兼会)東京支部の企画で講師は大阪大学副学長の相本三郎氏でした。演題は「22世紀に輝く大阪大学の未来戦略」。現在の大学が置かれているポジションおよび生き残りをかけた未来戦略を説明いただき、2031年の創立100周年には「世界適塾」として世界トップ10の大学になりたいと話されました。(参加者約60名)

秋(11/7)は青雲会東京支部総会と同時開催となるので、当方が主催で講師は32期のSMBC日興証券金融経済調査部部長の末澤豪謙氏です。「2016年経済・金融市場見通し」と題して講演いただきました。「ニッポン一億総活躍プラン」と「新三本の矢」の解説から米大統領選の行方まで多岐にわたる解説をいただきました。日本経済の再生は「アンチ・エイジング」が重要との言葉が記憶に残りました。

この二大イベントの準備のために幹事会を5回行いました。幹事の皆様の献身的な努力が支部を支えています。有難うございます。

その他では年2回の青雲会ゴルフコンペと待兼会と工学部の合同コンペを実施しています。関東に在住の会員の皆さん是非ご参加ください。

今後は若手会員が参加しやすいイベントも考えてみたいと思います。本年もどうかよろしくお願ひします。

名古屋支部だより

名古屋支部長 中嶋 利幸(19期)



名古屋支部 連絡先

〒464-0058

名古屋市昭和区八事富士見1304

中嶋 利幸

TEL&FAX 052-834-0607

平成27年名古屋待兼会活動状況

名古屋では経済学部同窓会と合同で、東海地方に在住の卒業生を対象に、『名古屋待兼会』を運営しており、2、4、6、9月の例会と11月の総会が主な活動です。

例会では同窓生が持ち回りで30分ショートスピーチを行っていて、昨年の例会では、「ウルフィー(地元名古屋テレビのマスコットキャラクター)をご存じですか?」、「四国八十八か所歩き遍路考」、「愛知県議選を振り返って」、「日本の伝統文化 鵜飼について」と、マスコミ界や政界の裏話、日本の伝統的な行事や文化など幅広い話題が提供されました。

そして、スピーチの後は約2時間、食事とお酒を楽しみながら、出席会員の近況報告や懇談などで会員同士の交流を行いました。

11月21日の総会には、大学院法学研究科科長、法学部長の竹中浩先生に御出席賜り、「新総長の紹介」と「世界屈指の研究型総合大学へ」と題して、大阪大学の目指す目標や使命をお話し頂きました。『革新的な大学ランキング2015』では、東大、京大を押さえて日本でトップ、全世界でも18位という高い評価を受けたとお聞きし、出席者一同、卒業生として母校の躍進を頼もしく感じました。

総会、例会には毎回、20人前後の参加者で運営をしています。本年も昨年同様の行事を実施する予定にしていますので、東海地方に在住の同窓生で、これまで参加をされていない方も是非ご出席を頂きますようお願いいたします。ご参加希望の方は左記までご連絡を頂ければ、会の詳細をお送りします。ご連絡をお待ちしています。



囲碁同好会へのお誘い



人工知能は囲碁を越えるか。しかし、人工知能も人間が開発したものですから、人間を越えることはできません。

青雲会囲碁同好会は、毎月第2土曜日午後1時から、中之島の青雲会交流センターで例会を開催しています。

80歳を越え矍鑠たる人から30歳台の若手まで、一手一手に状況判断、善悪、感情を込めて互いに手語を交わします。

これは人工知能ではなく、人間だからできることです。ご参加をお待ちしています。



お問い合わせは 幹事 山口 勝之(13期)まで TEL:06-6339-7747 メール:esakalawoffice@gmail.com

平成27年度青雲会行事等報告

月	日	曜	行事等
2015年			
4	1	水	大学院高等司法研究科オリエンテーション(於:豊中総合学館401講義室) 大学院法学研究科オリエンテーション(於:豊中総合学館501講義室)
	3	金	法学部1年生オリエンテーション(於:豊中総合学館301講義室)
	15	水	若手幹事意見交換会(於:栄光総合法律事務所会議室)
	23	木	第1回幹事会(於:青雲会交流センター)
5	14	木	第1回青雲キャリア支援基金運営委員会(於:青雲会交流センター)
	31	日	2015年度青雲会会報発行
6	25	木	第2回幹事会(於:青雲会交流センター)
7	6	月	第48回青雲塾(於:備後町クラブ)
	11	土	青雲会総会(於:大阪ガーデンパレス)
9	4	金	就職支援担当役員会(於:青雲会交流センター)
	18	金	司法試験合格者祝賀会(於:大阪大学会館)
	25	金	第3回幹事会(於:青雲会交流センター)
10	25	日	第49回青雲塾(於:加堂席亭宅)
	27	火	文系学部同窓会幹事合同懇談会(於:千里阪急ホテル)
11	1	日	青雲懸賞論文募集開始(2016年1月29日締切)
	7	土	東京支部総会(於:日本教育会館「喜山倶楽部」)
	16	月	第2回青雲キャリア支援基金運営委員会(於:青雲会交流センター)
	17	火	法学部生のためのキャリア形成支援講演会(於:豊中総合学館301講義室)
	18	水	若手交流会(於:大阪大学中之島センター交流サロン)
	21	土	法経OB・OG交流会(於:豊中総合学館401・402講義室) 名古屋支部総会(於:ローズコートホテル「フローラの間」)
	29	日	第50回青雲塾(於:箕面小会館「日時計の家」)
12	1	火	第4回幹事会(於:ヒルトンプラザウエスト)

2016年

2	15	月	第5回幹事会(於:青雲会交流センター)
	22	月	青雲会事務局移転(法学部本館「法高連携支援室」へ)
	23	火	第51回青雲塾(於:備後町クラブ)
	29	月	青雲懸賞論文審査結果発表
3	28	月	卒業式、優秀賞授与式、懸賞論文表彰式(於:豊中総合学館401講義室) 卒業修了祝賀会(於:豊中総合学館402講義室)

懸賞論文

今年は22名から応募があり、下記のとおり決定しました。各受賞論文は青雲会HPに掲載しておりますので、ご覧ください。

1席 時本 悠未 西尾 知紗 松本 涼香 (国3年)
「国際社会における民主主義規範の変遷
～内容分析による規範変動の可視化～」

2席 伊藤 寛人 (国3年)
「ナショナリズム抑制要因としての統合
—スコットランド独立住民投票を事例に—」

佳作 大岩 秀平 白谷 佳菜 (国3年)
「現代日本人の持つ年代別政治意識の特徴」

佳作 後 友香 (法4年)
「解除原因と遮断効」



懸賞論文
受賞者の皆さん

同期会開催報告

昭和29年入学同期会



今年も2月18日正午より関西文化サロンで開催しました。

東京、岡山からの参加もあり、元気な同期生20名が近況報告や在学中の思い出話、老化防止?のクイズ、「ボケ防止小唄」の合唱などで、大いに盛り上がりました。

まだ2月なのに来年の話などすると鬼を笑わせることになりそうですが2017年も2月16日(木)正午に「関西文化サロン」に全員集合ということになりましたので、謹んでご報告いたします。

(新制6期 芳村 昭宏)

11期生同期会

11期生は、毎年春に同期会を行っています。

例年関西地区での開催が多いとのこと、2014年は横浜・中華街で行いましたが、2015年は再び関西で、有馬温泉・古泉閣での開催となりました。

参加者は23名、宴会もさることながら、敷地内のカラオケルームでの2次会では一段と盛り上がりを見せ、大変楽しいひとときでした。

翌日は地元観光ボランティアのガイドによる3時間弱の有馬温泉の散策を楽しみました。

瑞宝寺公園からスタート、炭酸泉源、太閤の湯殿館、金の湯、銀の湯、等々を巡り、有馬温泉の発見された神代の時代から現在までの変遷など歴史にひたるひとときでした。

2016年は関西で5月19日(木)～20日(金)の予定です。

(田中 征男・記)



昭和41年入学同期会

昭和41年入学同期会は「夕夕の会」と称して毎年5月及び11月の最終金曜日に開催してきました。

今回2015年11月27日(金)は初めての企画として佐々木亮さんに提案頂いた京都・伏見界限での散策後、京都駅近くのメルパルクで会食・懇談を致しました。

参加者14名はJR京都駅に集合後、佐々木さんのご案内で、日本名水百選の御香宮神社や宇治川の源流に沿った寺田屋・龍馬通りを見学し、月桂冠大倉記念館では試飲もして楽しく過ごしました。



昭和47年入学同期会



2015年12月19日(土)に大阪大学石橋キャンパスのアセンブリーホール(旧イ号館)で昭和47年入学者の同期会が開催されました。今年は初参加者3名を含めて38名が参加しました。女性は3名です。

懇親会に先立って、石橋キャンパスのツアーを実施しました。同期の床谷教授の案内で、かつての教室や

我々の時代にはなかった模擬法廷(本物の裁判官と弁護士も当然います)に座って当時を振り返りました。

懇親会では参加者から学生時代の写真の提供を受けてスライド化したので、当時を懐かしく思い出ことができました。今後参加者を毎年増やしながらかつていきたいと思います。最後に誓って散会しました。

なお、2016年6月18日(土)には東京で、12月17日(土)には大阪で同期会を開催しますので予定してください。

同期会の開催支援

青雲会は皆様方の同期会の開催を支援しています。

- ・ 入学同期の会員情報の基礎データを提供いたします。
- ・ 同期会幹事の方は事務局にご一報ください。
- ・ 同期会の開催案内と開催結果報告をHPに掲載します。
- ・ 新判明会員情報を事務局にご連絡願います。

活躍する卒業生 I

NHKの
地方放送局長が
考えていること

NHK大阪放送局長
赤木 俊夫 (31期)



昭和58年に記者としてNHKに入り、おととしから滋賀県の天津放送局で局長を務めています。4年ほど前、大阪で広報部長をしていた時に、現役学生とOBとの交流会にお誘いいただき、青雲会とのご縁ができました。本稿を、学生さんにも読んでいただくことを念頭に書かせていただきます。

私の記者生活は、横浜でのサツ回りがスタートでした。当時の横浜はとにかく事件が多く、夜は帰宅する警察官を自宅前で待ち受け、朝は出勤前の家をまわって話を聞く、いわゆる夜討ち朝駆けが日課。デスクからは「バカヤロー」と怒られ、今から考えたらずいぶんとしんどい職場でしたが、当時は、こんなものだと何となく納得していました。

それから30数年、放送局の様子は大きく様変わりしました。

まず女性職員が増えました。産休、育休中の人もいて、男女を問わずワークライフバランスへの配慮が求められています。放送現場である以上、緊急時の呼び出しや厳しい取材は避けられませんが、少なくとも大阪ではデスクが大声で怒鳴るようなことはないし(もししたらパワハラといわれかねません)、逆に仕事がないなら早く帰宅するように若い職員を促しています。先輩や上司に気を遣ってダラダラと遅くまで職場に居残っていた昔の自分とは大違いです。職場の風通しを良くし、いかに楽しく働いてもらうための環境を整えるか、それが局長の役割だと自覚しています。

もうひとつは、地方放送局の存在感をどう示すかです。最近では、若い人だけでなく、中高年世代でもテレビの視聴時間が減っている中で、地域の人

にいかにNHKを見てもらい、評価してもらおうかを考える必要があります。

近畿圏のNHKは、大阪からの放送が多く、大阪から出すローカル(滋賀県域向け)放送は、午後6時半からの「おうみ発630」と8時45分の「おうみ845」が中心です。ここでは、去年から「しが!!応援宣言」というキャンペーンを行って、滋賀の良さや魅力を徹底して伝えることにこだわっています。放送を通して地域のお役に立つこそ、地方局の存在意義があると思うからです。また若い人を意識してツイッターなどSNSの活用や、中高年世代に関心の高い「子育て・教育」や「介護」などの情報の充実にも取り組んでいます。

ネット時代を迎え、メディアの中でテレビの占める位置が相対的に下がっているのは確かですが、テレビの将来をそれほど悲観していません。さまざまな情報が飛び交うからこそ「信頼できる情報」「手間ひまかけた放送」の必要性は高まっているのではないのでしょうか。

去年、天津局に法学部卒の新人記者が入りました。気がつけば、局内で最年長の職員となりましたが、もうしばらくの間は、後輩とともに、放送を出すおもしろさ、地域を元気にする放送局ならではの充実感を感じたいと思っています。



活躍する卒業生 II

関西に新たな活力を

池田泉州銀行
先進テクノ推進部
橋本 正博(60期)



「カッコいい名前の部署ですね! でも、どんなことをしているんですか?」

初めてご挨拶させていただき際、決まってこのような反応を頂きます。おそらく、「先進テクノ推進部」というユニークな名称が銀行には珍しく、初めて聞いた方に様々なイメージを想起させるからではないでしょうか。

当部の活動の主眼は、文字通り「先進的な技術」の発見や支援にあります。池田泉州銀行のエリアである関西地域は、ものづくりやバイオテクノロジーなどの先進的な技術に強みを持つ中小企業が集積した全国有数の地域であり、こうした企業の支援を通じて関西地域から新しい産業を創り出すことが、我々先進テクノ推進部の使命なのです。

特に池田泉州銀行のような地域に根差す金融機関は、自治体や大学等と緊密に連携した「オール関西体制」を構築し、地域の活性化を主導する役割が求められる時代になりました。私は池田泉州銀行での職務を通じて、この関西地域を世界に誇れる魅力ある地域にしたい、という夢を抱いています。

申し遅れましたが私の経歴を紹介させていただきますと、2012年に法学部を卒業し、池田泉州銀行へ入行。これまで支店での法人業務や本部での新卒採用を担当し、地方創生がようやくトレンドになり始めた昨年2015年に、現在の部署へ着任しました。

関西をもっと良くしたいという思いで入行して4年、若輩者ながら痛感しているのが、関西からの企業・人の流出がいかに顕著であるかということです。特に新卒学生が東京を選ぶ傾向は強く、採用活動において常に向き合わなければならない最大の課題の一つでもありました。「なんとなく東京って面白そうだから…」と付和雷同する学生も多いのですが、そ

れも関西の持つ様々な魅力が見過ごされてしまっている事の現れだと思います。また、昨今の就職活動の傾向として「グローバルに活動することがカッコいい」という風潮がありますが、なぜかその「グローバル」な視野に東京だけが映ってしまいやすい状況は、関西人として非常に寂しく感じます。

私がここまで関西に拘るのは、やはり自らの生い立ちによるところが大きいでしょう。出身は阪大お膝元の豊中市、母方は地元で事業を営んでおり、祖父・父・姉も大阪大学を卒業と、生粋の「どローカル」家系に産まれました。

とはいえ全くローカルという訳でもなく、幼少より父の仕事の都合もあって海外15カ国を旅しましたが、その経験も地元への愛着をより強くする要因となったように思います。これまで旅した中ではイスタンブールが最も印象的だったのですが、東西文化のごった煮や世界一の商店街(バザール)、ボスフォラス海峡の水辺の風景、B級グルメの数々…と、どこか大阪と共通する点が多かったからなのかもしれません。

今後は関西の比較優位性を発見していけるよう、より一層知見を拡げていきたいと考えています。まだまだ若輩者ですが、豊中住まいという地の利を活かして青雲会の活動にも積極的に参加したいと思います。引き続きご指導ご鞭撻賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。



青雲会からのお願い

現在の会費は入会金 20,000円、年会費 3,000円となっています。
 会費の納入率の向上と、青雲会財政の赤字の改善が強く求められます。
 会員の皆様にはこの場をお借りして年会費の納入をお願いいたします。
 同封の振込用紙により、今年の総会へのご参加とともに会費納入を何卒よろしく
 お願いいたします。

青雲会からのお知らせ

同期会や同窓会をしませんか!

昨年会員管理システムを
リニューアルしました。

ぜひ同期会、同窓会や、また恩師を囲んで出身ゼミ毎の同窓会開催などにお役立てください。

- 入学年度での同期会の開催
- 勤務先内での同窓会の開催
- 出身ゼミごとの同窓会の開催
- その他にも、出身校や出身都道府県ごとの同期会、同窓会の開催にもご利用頂けます。
- 居住地やエリアごとの同窓会の開催

事務局までお問い合わせください。TEL:06-6850-5198 青雲会事務局 黒田 嘉次郎(18期)
 メール:ishibashi@seiunkai.net

青雲会 役員 任期：平成27年4月1日～平成29年3月31日

役職	氏名	期	担当(*:主担)
名誉会長	林 智良		
会長	初谷 勇	26期	
幹事長	三輪 省三	旧制1期	
副会長	山本 茂伸	22期	総会*、組織強化(総務)
副会長	松井 繁幸	23期	青雲塾*、新規事業企画
副会長	片岡 和行	24期	組織強化(総務)*
副会長	松本 克己	26期	総会*、就職支援
副会長	野村 史郎	27期	組織強化(正会員・特別会員)*、就職支援
副会長	西井 秀行	36期	組織強化(準会員)*、就職支援*
副会長	嶋津 裕介	45期	新規事業企画*
副会長	堀木 由紀	46期	懸賞論文審査*、新規事業企画
幹事	(各期)		
	うち特に担当を委嘱する幹事		
	西畑 一哉	27期	懸賞論文審査
	川上 良	39期	懸賞論文審査
	渡邊 真理子	39期	情報発信機能強化*
	石黒 陽子	49期	青雲塾、情報発信機能強化
会計監査	西村 元昭	14期	
会計監査	松本 綾	40期	

事務局

事務局長	黒田 嘉次郎	18期
------	--------	-----

平成27年度決算報告と平成28年度予算(案)

(概要)

収入の部 (単位:千円)			支出の部 (単位:千円)		
項目	平成27年度 決算	平成28年度 予算	項目	平成27年度 決算	平成28年度 予算
会費収入	5,662	6,000	総会費	424	674
総会懇親会収入	424	581	会報総会案内費	2,167	2,130
その他収入	272	175	名簿・HP管理費	389	390
			支部助成費	370	370
			ローヤリング助成費	200	200
			一般助成費	352	300
			懸賞事業費	237	270
			司法基金援助金	300	300
			塾・部活動費	96	150
			新規事業費	32	200
			人件費	742	600
			その他経費	926	1,172
収入計	6,358	6,756	支出計	6,235	6,756

(単位:千円)		
収支差額	123	0
前期繰越金	3,961	4,084
次期繰越金	4,084	4,084

※本案は総会でご審議いただきます。

●●● 青雲会事務局よりお知らせ ●●●

青雲会事務局は、2月に豊中キャンパスの法経研究棟2階の「学生支援室」から
 法学部本館1階(正面玄関入って右手、右側)の「法高連携支援室」に移転しました。

電話番号は従来の TEL.06-6850-5198 と変わりません。

月・水・金曜日の10:00～16:00(11:30～12:30 昼休み)に
 在室しています。

会員の皆様のご連絡をお待ちしています。

青雲会事務局 黒田 嘉次郎(18期)

